

冬場はこたつで商談

「真面目なふざけ」モットー

平戸梱包運送

平戸梱包運送（平戸伸和社長、神戸市中央区）

は今冬から、事務所にこたつを設置し、銀行との商談や税理士との打ち合わせで使用している。訪問者へねぎらいの気持ち

を表すとともに、和やかな雰囲気を作成。「真面目なふざけ」をモットーに、社内外の誰でも受け入れる職場づくりを目指す。

銀行との商談をはじめとして、本社事務所では重要な案件を話し合うことも多

い。平戸社長は「真剣な場面だからこそ、気兼ねなく会話できるような雰囲気づくりが大切だと考えている。一見するとふざけているように見えるかもしれないが、当社に来てくれたからには気持ち

を少しでも安らげてもらいたい、という思いが根底にある。『極めて真面目にふざけている』とも言えるかもしれない」と笑顔を見せる。

同社では運送事業者のイメージを変えたいという意識から、2023年夏に兵庫営業所（兵庫区）の事務員にアロハシヤツを支給し、着用を奨

励。冬場の取り組みについても模索し、事務所の応接室へのこたつの設置を決めた。テーブルには定番のミカンやお茶菓子を用意。商談のほか、社員との個人面談や、平戸氏が事務作業で使用する

こたつでの商談に驚かれることもあるが、多くの訪問者から好評を得ている。運送事業者と自社のイメージ向上を図るとともに、「また来たい」と思ってもらえる会社を目指すしていく。

銀行との商談の様子はSNS交流サイト「フェイスブック」の平戸氏のアカウントでも紹介。ウェブ上のつながりを示す「友達」からも多くの「いいね」が付いており、ちょっとした話題になっ

平戸社長が事務作業で使用することもある

もある

ているという。（黒須晃）

